月 号 強力なが、選挙運動を展開することを決めた。 選挙運動の具体案を研究中である 来るべき四月の衆議院及び参議院議員選挙の公明化を期そうと県選挙管理委員会では公明 こんどこそ公明な選舉を を、四日、県公明選挙推進協議会の第一回総会を開き、

発

新渴縣公民館連絡協議会

縣公明選舉協議会総会を開

解散となった為、まとまった実績をなくするよう世論を盛りたて第一

「許論会、討論会など行う。また、 理事に就任した。

を挙げ得なかったものである。 | 二段階では候補者に止しい選擇運

会議では選挙公示までを第一段一動を、選挙人には自由心思による

参議院選挙公明化運動要綱」を決

運動の方法はポスター、スライ

「第一段階(三月―四月中旬)」 ドなど用いるほか、 政治教育に力

ないこということだった。

誰でも貧乏から解放されたい

一種であたら一生を了りたくな だが馬鹿で貧乏な者がそと

階で実施までを第二段階とする「「責任ある投票を呼びかける。

全 連 山氏が 副会

全国公民館連絡協議会評議員会|は九、十の両日東京神田の教育会 長に 就

任

パチンコ代ぢや馬鹿河岸からり とう岸に渡る船賃にならない。 意ながら手品を続けるほがはな 越しの松に見える間は甚だ不本 民に活用されているのが文化国 村長の交際費が、船板べいに見 ように見えたり、又チヤチな町 ケチな学校教育費が高嶺の花の な公民館の小窓から見て、あの の常態だろう、私達がささやか その程度の施設が完備され、住 する以上に、教会教育の振否が 八間の真価を造成してくれる、 立て、静かな言葉に気迫をだだよ ちに、会議は終始丸山氏のリード わせれば、形式的な零囲気はが然 展開えの構えを整えよ、と条理を するの気迫をもって、本格的活動 丸山氏は全公連の使命と構えにつ の如く会長の開会宣言で幕を開け からは、戸田会長の顔も見え、砂 直一郎、 県社会教育主事 増井梯 いて、公民館によって国家を再建 た。二十八年度計画の議に及ぶや 教育施設課長、又社会教育連合会 ら、寺中社会教育局長、近藤社会 三郎の両氏が出席したが文部省か 変し、積極的建設的な熱意のう

月発起人会を開いたが、衆議院が「で政治への関心を高め、事前運動」をあっせんし、講演会、公職会・、し、本会よりは副会長鹿野愈氏が「むる三月三日午前十一時より評議 県公明選挙推進協議会は昨年ですめに選挙人の政治教育を行む一を注ぎ、県社教課、新聞社が講師・原選管委員長悟川加澤恵氏を選出 盟、民主労組、県教委、県選管代 公民館、婦人会、青年団、宗教連 表など約二十名が出席、会長には なお、総会には各政党、新聞社、

増井主事より新年度県予算におい一即会長・東東東ネタ東東北 費及び同補助金増額につき格別ない。て、社会教育費、殊に公民館指導生 男頭県社会教育課長代理として 会 長

丸山直一郎 (南浦見附) 幹

|深謝の唇控 拶あり。丸山 会長よ|おいて行われた関東信越静一都士 る循援助網協力のあった事につきる二月五、大日、群馬県前橋市に 既野副会長より、 なお、懇談の際、 | 西蝦糸魚川 (県社教課) 南魚塩沢 甲田 飯郎 山内正常 小野沢草沿 虎治

一館で開かれた。本県から会長丸山

の龍野氏、副会長に新潟の丸山、 | 日 役員選挙の結果、会長に東京

れる唯一の途なのだから…… (十日町公民館長山内正豊)

馬鹿とから私達住民が浮びあが

改造しろというのか、私達公民 学歴の差異が人間値価を形成 体幾年かかって一人の人間を

とすえて人間改造にとりかから は微動だにしない、じっくり瞬 という生優しい議論の遊戯位で の封建気質はまだべラ棒に強

と思い切って金をかけることだ

中途半端な金では焼石に水で

り拓けない、社会教育にはウン

徒手空挙ではあい略も壁も含

社会教育のあい路だの、壁だの

了る。一年たかがピース二箇で

生きてる人間の改造手術費を出

そうぢやないか、それが貧乏と

ばかりの小論を箸査した。その の振興策を論ず」という四十段

選後感の結論は「雪国の農山村

だ。 最近私は中魚沼の産業振聴

米ないのは、食芝で馬鹿だから

手品師ぢやない 私達が明るくて楽な生活が

から抜け出すには個人の力では

どにもうならない、欲するもの

私

達

は 壇

会が募集した「わが町、わが村

及し、整備されている前提条件 思案し、学ぶ為の公共施設が許 を、いつでも手近かに観、聴き

が満されなければならない。

なければ、如何なる名論卓脱い 館職員は魔術師ぢやない。

所せんは砂上のろうかくに過ぎ

一大阪の西村、埼玉の進藤の諸族が「司沃し、役員の歌劇では、会長副とを申合せた

、脊護、しん電器譲の後別項の如く一次し、時期は幹事会に一任すると

|十八年度事業計画业びに予算案を|をも兼ねて新潟で開催することに

の青年男女には選挙の意識を示す、員一名を縛う必要が生じた。

青年学級法制化の即時理実現

始めて選挙権を得た県下五万二千 就任。従って本県では新たに評議10)終って全員国会を訪問

定 員 會開 す

催

**買二十名の出席を得て、長岡公民**/が行われい承任された。 本年度最後の評議員会は春雨け一会長をそれぞれ再選決定。直ちに |新会長より規約に基言幹事の指名 新役員の顔ぶれ次の通り

正誠(中頸鳥坂) **栄蔵 (長岡市)** 態(新潟市産)

(北蒲葛塚) 秦原 潹

(三条市)

りもその実情を評細報告次いで甲一県による公明選券運動推進の欝波

パンフレッドを配り公財選挙運動一〇第二回全国公民館大会は六月一・公民民館建築起館許可

|の中心となるよう呼びかける。 | 四五、六の三日間日光町で開く。|について隙情した。

年度 餯

本會評議 決

新

石井 耕

するところとなった。主なる内容 | 田幹事より本年度事業報告、 鹿野 | 会並びに協議会に出席した報告と 事務局長より会計報告があり、二一新年度の県下公民館大会は新潟博

明

反

省

一公明選挙をけがす奴は葬」たる委員会を組織し実行に入った 塩沢町では町長の大脊板の揮撃」わて気味で、各館は装に推進基盤

一方市からも三万五千円を獲得し

-Ę 大

1全公連負担 1会紙発行費

7 負担金 行会 費紙 発

四五、

五 〇 〇 000

五〇〇部×七円×一三回

8年3	月20日
10	77.77
#	三 //

<b>∓3</b> ,	月20日
_	*****
3	3 14
T .	$\cdot$ : $L$

8年3	月 <b>2</b> 0日
7	
110	3.77
_	

<b>ю</b> фэ	月本の日
***	·
	A
	****
110	

8年3	月 <b>2</b> 0日
	1

8年3	月20日
"	NAME OF THE PROPERTY OF THE PR

126年	3月20
. •	
	12

14		月	
_	****	 ,	7
7,		*2	

28年3	
10.000	
-	

28年3	月 <b>2</b> 0]
	77

	月20
·**	
//n	

128年3	月ZU
10000	
7 L	1.1
-	
4. 4	
***	
0000	

	28年	3)	月2(	)
				•
	· .			į
-				_

12	84	<b>∓3</b>	月	2(	j
	7	_	`	7	7
					ď
Ŧ.,				٠.	

For	28	狂	3	F	12	30
•		~		ó	_	
	. '		•			

Ñ	2	34	3	月	2(
		***		i.	

ħ		8	4	d	J	7
*	_	7	_	ï		
			-			

和	284	E.	F	2
-	***	·	· c	-

	84	-3	月	2
_	,		_	-
	-			
-,				

	· * *				
			- 4	-	
÷	<u>-</u> n	$\alpha$		1	
7	π2	7 3	H٠.	21	- T
1		_	T	-,	'n.
•	70.				
	_			-	_

	,*				
			. 4	20	
100	<b>-</b> 0	10 /	年	3.1	
- 7	112	ю:	ш.	"	۰
-75				•	
	т.				

昨年九月十一日、本郡にも公明

|数千万円の運動費を憶まない候補|

予算の褒付がなかったり、他団体 で、嫌になってしまったそうであ」がそれを陰で助長するものとして を要望したのであったが、なす

| 者に到底対抗する事は出来ないの。くことは、勿論照質な近反である 展せしめ、極めて高度の熱と実践

ある。その時に「運動費をバラ撤 動員して、全市的拡大運動に迄発

公明選挙について懇談したことが「各種団体、特に婦人青年の組織を

との関連となると、どうしても、

 $\{3\}$ 

**真遺反に連座するととになったと** の運動機関に化けていて、 の間にか、政治研究会は特定候補 年団の幹部一同人会したら、い 等もあったと言うし、或る村で書

· 結局全

|いえ、全市的結合と施策に不充分|運審委員長を以て推進協議会を結

に時、たとえ抜き打ち的解散とは一月中既に準備に入り、

八月館長及

が立候補し、当選するまで確然と

界につき、充分検討の要ある事 一脳めねばならぬ。この点、某館に

ければならない。 将来本運動の

 $\overline{\Diamond}$ 二、八〇〇

五〇〇

昨年新潟の公明運動の跡を省み|に過ぎない。われわれ市公連はも

新

澙

の

合

な感じを思わせられた。先づ市選一成運動方針を決定したが何分にも

せず身を以て公明選挙を実行せら

一線を回して公明選挙運動を利用

を声をからして呼号したり、地方 | 不一致不活動である。婦人会は個 | あったので開店休業の状態が続い | に大きな提針を与えるものとして

一々の地元で多少の運動を展開した一た。その中に解散となめ、少しあ一敬意を表したい。

合

**≡**00

青年諸君の自転車隊が公明選挙|管の不活発と、青年団、帰人会の|市の予算を待たねばならぬ有様で|れた事は、公明選挙運動のあり方

一町村で公明選挙の計劃を立てない。ラ撤いたとタメイキをついていた。接な関係があり、たゆまざる努力、選挙に引き込んだようである。

と熱意を要するものである。

て、良心の呵竇にかられつゝ、バー教育と公明選挙、それは非常に当一まれ、知らず知らずのうちに公明

|実現を期するものではない。社会||られるし、またその素朴さが親

五. 呵 Ξī.

1100

五?:100

六00 九〇〇

11、大00

000

1100

八、七〇〇

1.00

000 **1**00

高々は一朝 一夕に、 公明選挙の

人形劇がある。指人形は誰にも作

りめぐされていたと言う。気の息 うちに、不公明選挙の魔手は、は

ようである。

名簿を全部写しとってしまった場

いのは、昨年四月、町村の選挙人

足なみ

は早めに揃っ

えよ

候補者が出た為、

一層白熱化した

一面特定候補の事前運動の意

特に地方教委には、同愛の士から

の公明選挙の実施報告によると各

先般都公連における各町村より

のために訪問しても、

ぎくっとし

がもらしていた。そこの家に運動

協議会としても、今年度は公明選|察にひっぱられた候補者の運動員

者の原稿入り機関紙の発行など経(して、全郡各戸に貼附したが、こ)法の改正に当っては、

れは確かに効きめがあったと、警

7÷

運動も辞さないと言う気速であっ

全国的署名

撤布、塩伝カー、人形劇、紙芝居

夹 ∄.

000

五、七〇〇

9

O. HOO

八 000

七00

八二〇

1100

四、六〇〇

九、八〇〇

四、四〇〇

000 七〇〇 ① ①

H、MOO 三、五〇〇

具体的にはポスター、チラシの

、討論会等を為したのであるが

刷費・公明選挙青年弁論大会入賞 | 台 所 | の標語を半紙 | 14に印刷 | 挙法の改正 | 問題がとり上げられ

従って、公明選番ポスターの印|この一票あすからひゃく|と結論が出た。郡協議会では「選」なよう努力せわばならない。

| くみてよく選べ、公明選挙 | 破することも音々の任務である! | に呼びかけ、再び昨年の轍をふす

い。したがって、との封建制を打

一の参院選には県選管と共に市選等

一め、婦人団体の公明選挙実施ぶり」することを首視しなければならな「きな原因であったと思う。こので

|例えば、親分子分関係などの存在||的熱意と関心の高まらなかっ

各町村に庶見られる封建的条件、となく終った事は、本運動に全声

市

П

割

合計負担

六、四〇〇 七、三〇〇円 公民館数割

九〇〇

t 五

四〇〇

. 玉〇〇 五〇〇円

0, 1100

|| | | | 数 担

金

割

当

表

しかし、那連合婦人会長をはじ

の会長は都公連会長がなった。

八会・青年団・PTAであり、そ|を紹介するが、『よくきけ、よ

・推進協議会の構成は選管委・婦 民

館協議会の力を

借りねばなら

力であった標語ポスタ

南 魚

の

場

合

4.

又青年諸岩を公民館長が寄せ、 にするのか。といった者すらある

た事から、やがて選管及市当局は

公民館が最初に協議会を結成し

予備費

2 t

予備

七〇、五〇〇

**八** て、 式

四〇〇

三九、

九00

第二号 (毎月20日発行) 新森	· 縣公民館月報	昭和28年3月20日 (4)
2、公民館社会部長は東の解散した。参議院も半数の改選である。これ、各幹部を動員して公開選挙」、、公民館社会部長は乗りとなった。そとで昨年の公開選挙を入り、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員候で、公民館社会部長は教育委員には、これの啓蒙を行うの関係がある。これ、各幹部を副選挙はかくあ」、、公民館社会部長は教育委員には、これの啓蒙を行う。といるで、公明選挙はかくあ」、、公民館社会部長は教育委員には、これの啓蒙を行う。といるで、公司、と自ら全部落をまわっ、選挙と題するスライ下及びを解析を表して、公司選挙はかくあ」、、これの啓蒙を行う。といるで、公司、と自ら全部落をまわっ、選挙と題するスライ下及び、表記を持ち、といるので、表議院も半数の改選である。これを作用し、とは、といるの改選を表には、表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表		ではいている。 では前二回の選挙を取すためまた。 それは前二回の選挙の反名と、こ それは前二回の選挙の反名と、こ であたれたものであるが、併せてい にもたれたものであるが、併せてい に様である。
各教じる「管民	ラツプより 物を参加者全員に配布し、「公の中にも、公民館の各活動を通し、間せよとの声もさけばれたが、とて政治教育の徹底、公明選挙推進、れと共に連座制造化のための街頭であって、これを自治庁だけに、婦人会、青年団等はれたのも当然であって、これを自治庁だけに、婦人会、青年団等はれたのも当然であって、これを自治庁だけに、婦人会、青年団等がれたのも当然であった。となった。「一斉傾に映写会を開催する。信同一斉傾に映写会を開催する。信同一斉傾に映写会を開催する。信同一斉傾に映写会を開催する。信同一	マ、嫌でも応でも、選挙時の審
十分、公民館長が行った。 十分、公民館長が行った。 十分、公民館長が行った。 十分、公民館長が行った。 十分、公民館長の徹底を計った。 布して、趣旨の徹底を計った。 今民館で館長の禰底を計った。 公民館で館長の禰底を計った。 今民館で館長の禰底を計った。 今民館で館長の禰底を計った。 今民館で館長の禰底を計った。 今民館で館長の禰底を計った。 今天は主として指導者順八十名一、 一、討論会開催 で討論会開催、全衆は一般町民	五 四	子客猫の拳
標語を懸賞奏楽したとろ、次三 のものが入選、街頭並びに選挙 別に掲示した。 の手関で投票 の用るい選挙、明るい政治 の所とい一票、良い政治 を渡野が選挙、明るい政治 を渡野が選挙、明るい政治 を渡野が選挙、明るい政治 を渡野が選挙、明るい政治 を渡野がとまい で、テープコーダーの利用 増井第三郎先生より 二十分の お話をして頂き、映写機と共に お話をして頂き、映写機と共に た。映写後、青年、婦人層から た。映写後、青年、婦人層から た。映写後、青年、婦人層から	= -0	
三、	□ で、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	と座談会を行った。 と座談会を行った。 と座談会を行った。 と座談会を行った。 と座談会を行った。 と座談会を行った。 の表面薄原郡松野尾村公民館 西蒲原郡松野尾村公民館 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する 一、標語を募集して掲示する であった。 の実施の結果 の実施の結果 の実施の結果 の実施の結果 の実施の結果 の実施の結果
の関係を主眼とした各党計画を を重素の幹部を対象とした各党計画を を重素の幹部を対象として を重素の幹部を対象として を重素の幹部を対象として でを重なの場所において でを重なの場所において でをに関する街頭映写会を を可は国族を掲げた 当日は国族を掲げた 当日は国族を掲げた	あの趣画普及懇談 動の趣画普及懇談 新の趣画普及懇談 新の趣画普及懇談 新の趣画普及懇談 新の趣画普及懇談	会差開催した。 会差開催した。 会差開催した。 に、各部搭無に各種会会を利用して座談会及び幻燈映写により趣 佐渡郡夏野町公民館 一、名土に対しアンケィトを提出 し、これを町民に紹介 "どうしたら公則選挙は実行されるか"。教育委員にはどれなれるか。
▲金沢村の公民館は工事中から便い始めているし、整塚公民館にしい始めているし、整塚公民館にしい始めているし、整塚公民館にし場所、便宜であるからである。 気易く使い得るからである、便宜であるからである。 では、大田である。 気易でをに続除をし、図書や本いもっとな野に掃除をし、図書や本むっとな野に掃除をし、図書や本むっとな野に掃除をし、図書や本むっとな野に掃除をし、図書や本むっとな野に掃除をし、図書や本むっとな野に掃除をし、図書や本い。これでそ常整に掃除をし、図書や本いっこれでそ常整に掃除をし、図書や本いのました。	日代38250 国長公民館が七年のである。とれでよいのであろうか。  本学校は村一番のインテリで近寄より難い先生様のいるところ。役場は格職ばった感じがぬけず、気場は格職はった感じがぬけず、気場は格職はっている。公会堂は村長様が頑張っている。公会堂は「大才香果く陰気である。」	本、

*i* 

の一部を次の様に改正する。和二十六年文部省令第十二章

社会教育主事講習等規程

(四单位)、図書館通論(二年位 、博物館学 (二)单位)、視聴

と報じ、反対声明音を掲げている

方日本青年連盟の機関誌「に

ばん青年に一号はこの声明に対し

「反対の趣旨はわからないことも

第二章の次に次の一章を加え

第三章

社会教育に関する

教育及び職業指導 及び学校開放(二単位、職業 **覚教商(三単位)、通信教育** 

(四単位)

明確性を欠いているので、文部省

の趣旨とどれだけ隔っているかは ないが、論旨は如何にも粗雑で、

っきりしないが、更に研究をとげ

体指導(二単位)、成人

社会教育

その終幕が近ずいて来た。 との問題をめぐる幾多の論の中

た青年学級法制化の問題も、

|讚||否|||論|||社会教育の世界に大||な事業として青年学級を開設いた 生 目

全公連が國会へ陳情

学級振興法

重要性に鑑み、速かに青年学級の

この際政府は勤労青少年教育の | に 第十二国 会に一百年学級制度

一一一、に関する騎順一を提出し、

他の範とするに充分なものと思いよる読書クラブの活動は余り

報

活 勤

購入する図書の全部はあげて 公民館に寄贈され、町立図書館

にも有名である。そのクラブで

の建設を目指している。

〇六号として受理されている。

きな波紋を投じて論争を続けて来しておりますが、その共通する悩一月第一次第二次と二度にわたり、 を講ずるよう、要望いたします」 ②解し難い日青協の反対 日本青年団協議会は、 |制化反対||を決議した。更にま 一月七日、八日の常任理事会で、たい二月一日の日晋ニュースに、 大会に於て豹変し、「青年学級 青年学級法制化反対の決議をした ところが昨年五月、問題の福井

須戸公民館 えている。 流をなして既に発行以来一回も 休刊せず三年半第四十二号を数 公民館報「とすど」がその主

による一般への図書賃出しも大

・八の市日にクラブ圏の奉仕 更に昨夏八月より実施した、

なお、必要に応じて館報号外

の発行、ポスター、チラシ、ダ

を増していることはこれまた 変な好評を得て月々利用者の数

ットサン等を利用して速報、

嬉しい現象である。

伝するの外、 刊行物がある 更に視聴覚教具を利用した幻 句集、郷土安の

視聽覚活

動

物をもたないためいつも選にも

れいたのほ誠にお気の毒な次筆

候簡に二回推薦されたが独立建

県表彰三回、全国優良公民館

映写されて大きな成果をあげて **愛映画等によって町のうごきが** 

覚教商委員会が組織され、映画

幻燈部

各種団体の協力によって視聴

The second secon

動

覚 カメラ班、児

重斑がおかれ

燃によってそ に幻燈部は幻 欧河部は映画

児童班は紙芝居、カゲ絵指人形 速報、記録写真などの分野に、 メラ班はスライドの作製、写真 れぞれの分野に活躍しているカ

団があげてとれに協力して映画 または幻燈を毎夜各町内、部落 ことに特能すべきは全町青年

を巡回映写し全町民に娯楽と教

養をあたべ、明日の矯産への大

きなかてとしている。

て、次の陳膺を行っている。 議会、全国代表者会議の名をも り、三月十日、全国公民館連絡的 し積極的運動を展開することとな そじてとの法の即時実施に向

(每月20日発行)

容修正によって解消したわけであ

理 (三単位) 、教 (三)単位)、社会原 に乙郡
【教育史 の科目の単位並び

(四単位)、教育心

いう心配も上述の選り法案の内

方の混乱を招くおそれがある. 開設主体を分散させてはかしろ地 民館の講座で十分行い得るものを 理由の一つとして掲げていた「不

教育財政(四単位)

に掲げるすべて

のうち、すでに大学 得すべき科目の単位

れていました。

青年学級は、このような性質の

おいて、一定の枠を設けて、行わ

弘報読書、視聴覚の三大活動は とは常に動いでいることで特に

六人一組とした図書回覧組織

重話等で児童のために活躍して

いても、ある程度画一的に、

づけ、又修業年限、教科課程につ

従来の音年学校は、就学を義務

りの強みといってよい。 いるととは何よ と偉容を誇って の中心部に堂々 され、しかも町

同館を訪ねて一番に感すると

活

前項の褪定により修

とする。

とは、その性格を全く異にしてい

答 青年学級と従来の青年学校

覚

L

靑 年 專

の

協

弘報

読書

教育行政及び社会

た反対乃至時期尚早論も、その

育方法論 (総論) 四单位、社会教

(三)単位) 、社会

青年学級が法制化された場合

関する科目の単位

【社会教育概論

部省令第3號

育寅四(四单位)】

問

青年学級の法制化は、

位) 、教育調査 ( ション指導 (二)単 育及びレクリエー 教育(三単位)、 尊 (四单位)、家庭 指導及び青少年指

> |あるように思われるので、紙上 | 想に法案の 内容との喰い 違いが

説明してみようと風

が入手できて公 造ながら大建物

以館として開設

|を予想してのことであり、その下

もとより反対意見は、ある内容

であったが、昨年四月、

合の間口五間、

奥行沿五間の木 織物組

|単位) 、社会数

位のうちから三科

掲げる科目の単

のではないか。

の青年学校を復活しようとするも

次の表の甲群

すべき社会教育に

原則として、市町村の設置す

号の規定により 法第九条の四第三

**今学において修得** 

①青年学級は

であります。 であることは何人も異論のない 動労賈笙の教育が現在最も重要

(5)

不民
解はその設
置以来
い中
心的

であります。

みは、指導者の不足と経費の貧困|国会や文部省に「青年学級法制化

||られてはいないのであります。 一復活するようなことは、毫も考え

「紙上問答は次号に続く)

促進に関する要望書」を送り、更

以上及び内群【社会教育施設

る。三八・一・一七 との省合は公布の目から施行す

業年限、学習内容についても、青を義務づけるわけでもなく、又修

年学級によって過去の青年学校を

のうちから三科目以上八単位

単位)』に掲げる科目の単位 理学(三单位)、光遊心理学(二

るととが出来る。

り修得すべき科目の単位に替え

即して開設され、同つ運営される |年の生活の実態及び地方の実情に

ととが根本原則です。従って履修

む) は、これをもっ ずる科目の単位を含 目の単位(とれに路 において修得した科

青年の自主性を尊重し、又勤労青 ものではなく、あくまでも、勤労

てす前項の規定によ

測定をも含ませることは何より子

定と共に質的な面、動的なものの一的な面を捕え、

動的な質的な面を 能率、自主指、

・アメリカのあ る地域の読書調

以上の償嘱さが必要である。

読書の機会が少なければそれ

を選ぶかということは妻を選ぶ

增

内容的には末だ幾多の問題を残ってある。

書

間を通じ 査によると、

本を全々読ま

だけ読む本の選定は慎重を要す

●といって、若し公民館が

四八%

一冊一四冊読

一十一四冊読む

八//

んでもらいたいこと思う本を

となっている。日本ではもっと 回答なし 五〇冊以上読む 五刑—四九冊號

要が生じてくる。

てもさっぱり寄りつかないかも 教育的立場で選定して並べて見

しれない。ここに読書指導の必

会議審営運

かろうか。というのは、日本人 本が読まれてはいないのではな

りに許されたとしてもそれは個

「つんどく」という範書法が促

**八蔵書の場合であって、公民館** 

の本は読んでもらわなければ本

08// 五〇〇億円 八00//

当の図書にはならない。

民 公

か。公民館の設備並びに事業に対

する課税の免除により、その蒙っ

一力点とその方法について見きわめ |成長の方向と、程度と、今後の努|あろう。

自己診斷に必要な

職員の身分をいかにして確立する。| 民館は、自らの成長度を測定して | 発展のため、

特に要望される点が

③ 施

資

員数は、 昭和 公民 館野任職 本県に おける

工七年月 日現在で専

|を設け、運営審議会を測定の対象 一指導者の面を特に二分してこの項 |めて大きな影響を与えているので

の年間消費高は

運営審議会の良否は公民館に極

として特に考えてゆくことろした

(5) 4 ②運営審議

① **微** 

員

いて

⊕職員につ

4関連性 3自主性

- 1002000 → **一数数数数数**→

予算を獲得するか、公民館の専任。ねばならないからである。次に公一努力が、これからの公民館の進歩

して公民館の運営のために必要な」は、公民館事業計画の前提であら、とれらを是正し、改正するための

いかに一の探求と、社会機能の分析把握と国公民館に共通する問題でもある

一向けなければならない。社会基盤にだけに見られるものでなく、全

中心施設として動かぬ地位を占め|地域における社会基盤の差に目を|の欠点、場点は決して本県公民館 みたのである。

し来たものと見ることが出来る。

すでに市町村における社会教育のことは当然であるが、先づ第一に「が多いようである。そしてこれら「の四つの角度から測定しようと試」。2.能

|かは夫々の実情により異って来る|なくむしろ『とれからの公民館』|に分析し、夫々の面について上述|

次に、公民館を、次の五つの面

規

10000 

<u> 344</u>

面に分析してみて測

定

をそゝぎ込まれている公民館は、

って合計一億数千万円に余名公費」る方法を重点的に取り上げるべき」で見ると、その欠点、弱点も少く

どの面を如何に整備し、如何な一館の個々について「仔細に検討し

ることが必要となって来る。

模の角度からは主として静的な量 果次の四点を定めた。観察点の規

> ④関連性 ③ 自主性

> > みたのである。

み得る観点について種々工夫の結 切なものど考え、この画面をつか

② 能

<u> इंद</u>

関連性の観点が ら捕えようと試

(1) 規

ている幾多の制約を取除き、積極

的な活動を伸長するにはどうすれ

館

次々に柔がいたんでも、時に

紛失することがあっても、風に

をつくすことである。そのため 角「読んでもろう」ことに全力

■といって公民館の人が一人で

をあずかる者の最大の使命であ の積極的奉仕とそ公民館図書室

| 即する文化環境を守りたて、それ。ためには、どうしても自己診断の。| 方法について見ぎわめるための着。| いう点を規模の規葉として三間、

|Transferon | Transferon | Tr

民館の一つ一つが廃に実際生活に「反省しつゝ確実な前進を企画する」と、程度と、今後の努力点とその「

- この意味から、公民館が絶えず|その成長度を測定して成長の方向

|ので、専任職員が一名以上あると|近代的な公民館への本質的な検討

|もなさずに、依璧が行われた実例

に置かれることを目標としている。の人選ではないかと思わせたり、 いては兎に角専任職員が全公民館一長の勢力保持のための手段として 計二四六名であって、現段階にお一保つための人選であったり、

ラジオ

**廃輪競馬** パチンコ

#00// 三百0//

住館長五一名、専任職員一九五名|実際はとかく旧勢力のパランスを

四つの觀察

点

は、国における努力と共に、公

これらの諸縣案を解決するため

強い支持と社会の関心とをかち得一の下に安易な惰勢に逃避を続ける。電を要する問題である。

ならば、怠慢のそしりはまぬかれ

学校の評価 については纏った

測定することゝした。

|問、
計十三間によって職員の商を
| >し、法にかなった選出であると

とを目標とした。

この役割を充分果し得て、世論の一若しそれが困難であるという理由一めて重要な問題であると共に、慎

ぞれの地域の生活のセンターとし

如何に立ち働いても能力に復界 がある。そとで捷案したいこと 一良心的な読書人を簿内各部

一ドンのファイルという書店の年 間売上高を少々上回っている程

でこの三〇億という数字はロン

Ħ 9//

う。巡回交庫の問題も、読書を 読書運動を展開したらどうだろ 落に探し出し、その人を中心に

(每月20日発行)

従って公民館は、その悩みを解

ないであろう。とのととを痛感す。研究がすでに発表されているが、

印規

\$\delta\{\partial}{\partial}

動のための予算等を考察すること

一冊
これを
積み重ねると
富士山の

●全 
至 
界 
の 
図 
書 
教 
は 
二 
O 
O 
万

度であるからである。

二〇〇倍。しかも年々五万冊位

更に養圧弁賞の状況や、委員活

② 能

率

 $\downarrow$ 

員

るべきはとり、捨てるべきは捨てし、公民館成長測定の尺度を樹てしるものを創り出そうと試みた。

対象の量的な面、

静的な面の測しの項の構成は次の通のである。

②運営審議会について

**|けたのである。** 

(筆者県社会教育主事)

学的に、分析的に検討を加え、取っえた無事であるととを意識しつゝ一来、而も結果が一見して了解し得

る実証的態度が必要となって来るようと試みた。公民館を分折し、

えって、きびしい批判を下し、科|すために、遙かに個人の能力を越

一そこで、簡易に使用することが出

④関連性 ③自主性

 $\downarrow$ 

五間、自主性の観点から五間を穀 会の声点をついて、能率の観点に ゝし、形式的に流れ易い運営審議

の本が刊行される。

りも自らの在り方と成長をふりか一つ最も能率的な最善の方法を見出|は話だ不便なものとなっている。 決するための第一着手として何よ。るが故に、私は近代指導原理に立一何れも多岐に流れて実際の使用に

が必要だからである。(格股)

(ープの育成も拠点を持つこと

うるわしく樹ある」というが

「妻をめとらば才長けて、みめ

何如なる本をよみ、何如なる本

×

昭和28年3月20日

6:3

教育長講習終る

り続行されていた教育長購留は生

義から開放され、愛しき妻子の待

一我が家に向っ

……全村民の寄附金で竣工:

衢

牧

公

民

放送廳取看六

ラヂオの<br />
有線

本会ではこれに先立ち清晰一た。名で常に活発な発言が続出した。

100、下趣二五0、 参加者は上越会場二〇〇、

佐後

一万 中越

一教育委員、館長等五十数名の参樂。館図書管研究会を開いた。「毎日村」など参考資料を備える計画を進め

去る六日田上村公里、で各町村、町公民館で流譜会を中心に、

公民 古日

胞設、きよう工の歴史や人口動態

一暖房装置を行うほか、公民館教育 同公民館ではさらに、分室の改修 がぐんと減じていることが判っな

四月十日から婦人週間

怪や一人の老婆が住んで祭壇らし

いものを設け、コンコン様がちん

った。こわざわのぞいて見ると流

自主性高めようが

中原公民商協議会では六日、

中魚沼郡公連で

南蒲公民館運營研究會

志家の街附金募集に奔走し、ま

ホームトーキー一台、テープレ

育の先覚者池水隆勝氏の施設 Oさつ、映写機一台、視聴覚数

理解と共に、たゆまぬ努力は高

く評価されなければならない。

一度の図書の利用状況を請べてみた|試験制度とする 等うれしい 悲鳴

公は利担当者又は本

一をあづかる賢い主婦のなげきであ

(銀)

上りするかもしれない、とは台所 る人が多い事には、アブラゲが値 までもコンコン様にだまされてい

新発田市公民館で完般<br />
二十七年<br />
ので今までの<br />
郡単位を<br />
郷単位の

北瀬出張所では免許受験者が多い 成績である。これに対して教育庁 態は県下では佐渡、中類に次ぐ好 四名となり、視聴覚教育の振奏状

地方多

公民館の立場 委員会と

三十五円

村会当局並びに村民の進歩的な 動に積極的に尽力しているのは 協力して山間へき地の公民館活

力奉仕を行い、又一般村民は驚

むことが出来なかったので、定 勝制高校生七〇名は自発的に地

四月より専任職員二名を増員す

館長一人と専任主事一人の他に

の激戦を兼ねながら専任主事と

今後の連営面について言えば

る様計画している。蔵書教七〇

は延一四二年の本建築は到底

かしとの学算一四〇万円で

四〇万円の建築費が議決された の山村として決して楽でない

金麗室一一年

たのでとこに公民館の建築が実 応整備(小学校三校舎新築)し

建物の概況は次の様である

講議室

現した。専任主事の熱意もさる

人日優か大手人

寧務室 七坪 図書室十六坪

講堂 治児室

なお今年中に公民館結婚会場と

して使用出来る施設を整備する

| 関策| についての話があり研究剤 |教育課務侯主事の「読書運動の展

一映写機操作免許証の所有者は二十一ている。

六年末までは几十八名だったが、

本會發行の公民館資

◇…おぼれるものは藁をも、

教育委員

教育長

事等必携必読の案を長 運審委員

でコンコン様が助けてくれると思

ている気持はわからない。いつ

**心情はわかるが、奉納やおさい表** 

一年後の二十七年末には三百三十

が映写機、幻想機を持ち十六ミリーいて指導を強化する機計画を進め

北瀬原郡では各町村の約八十四

なお、各町村に優秀技術者をお

|をめぐるナヤミ解決を願かけると 一からわからぬが、いろいろと自分 北 浦 0 視

聽

躛

音

するかは一々アンケートしてみぬ ぶり。この中年婦人が何をお祈り

よう日下婦人会と協議している

なお館長は助役並びに教育長

|体策や図書堂の蔵書構成等につい 議を行った。特に読書欲喚起の具

て活発な意見交換が行われた。

新發田市で

圖書利用調查

させる計画である。

加工室として産業の振興に寄与

橘村役場、

中条村東部小

の各院書会の状況発表後、県社会

整備に依名学校建築のため延引

月下旬着工、同年十一月下旬村

つめた。そして昭和三十七年六 たたく間に八十余万の運用をあ

施する視聴覚

アップして実

百戸しとタイ

民待望の公民館が竣工したので

期待は大きい

教育に対する

は不名譽な郡下第一位になった ||るカ」をかかげている。係ではこ

|まぜてだが、婚んど大方は中年以

上の主婦でいおすなおすなの盛況

◇…お参りの人種は老若男女取り

余魔をうけてほくほくとある。

優良技術者二百三十四名

で名の違反者を出して、数の上で

「のばしませう自分で考え行動す

昨年秋の衆議院議員選挙で六十一高めよう 「スローガンとしては、

北魚小出の選舉對策

遊問が四月十日から十六日まで一

週間全国的に開催される。

本年の目標は、「婦人の自主性を

をなし、近代資本のバス会社まで い三文店にも客足がたまり四前市 いうのである。おかげでとの界わ 巻した昭和二十一年四月十日より

日本州人が始めて国会議員を選座ましましている。

七度目の容を迎えて第五回の婦人

| 百人以上のお参りが後を断たねと ◇…それからが大変である。日に

昨年の不名譽晩回

地下室は農産

置が要望されていたが、六三制

していた。しかし学校建築も一

れに音が子のような若い講師の講|挙げて無事終了した。

これで寒い部屋に駆いいす、そ

|日好天に恵まれ予期以上の成果を見られた。

一教育放送の全県的発展などがあげ

一公民。『起饋の認容、 超短波による

南部どうは不自見財で開催の予

00名から三千名くらいと利用者

びかけている。

讀書會運營研究會

なお、本会は南蒲北部のもので

Uれた「公民館研究協議会」は連

本会と県教委との共催にて企画」なお要望として、物品税の免除さ

本会から慰問

新大教育学部において兼ねて

の言葉と共に社会教育のため益々に終った。

るを贈り慰問。

。丸山会長より慰問「奢斗あらん ことを祈り有 意義裡」を得て開催された。 席上田上村の「利用者は六万七七三八名に遂した」

期

以

一公民

館

豣

究

協 議 龠 終 3

の、野生を受り配され、ミニを組上に活発する質質応答があ

(小島主事) の発表、これ

青年学級の青年学院(三年

|は十二戸がトツプで八八三〇名、

館運営方針 (中沢館長) 同選営100名から見ると老人から赤ん坊

社教の全容(加藤教育長) 公民」という。 とれを市内人口三万五三一べき衆・参議院議員選挙にとそ "

|という北角四都小田町では、来る|の週間の目的に副った事業を計画

|する様望んでいる。

町の話であ

|ることになる。また月別利用状況||選挙運動を早くも推進すべく、新 |に至るまで年間二回は利用してい||公民館と、選挙管理、委員会で、公明

二人の違反者を出さない様に〟と

無の暮じる る。一作年 村煙の田ん

赤い層層がた

|らしい選挙法、選挙の心得などテ

またら

大四〇〇名で一、二、三月は三五|各町内、 部落を巡回して広く呼 ついで七月の七六二〇名、九月の|-プ録音におさめて、十二日から

然とお堂が出来、



京ケ瀬村青年學級 二男組もある

村は周囲約四十時に及び、小学校一女青年約一三〇名の昼間制であり 北補原郡の南部に位する京ケ瀬 一前山小学校では、その区域の第一協力援助を惜しまない活動ぶらに

は顕が下る。

この青年学級の開酵式は十二月一者はいっている。 両邀村公民館も

の勉学に志気を鼓舞し、理解ある|其の糸に効果をあげている。 も時折、各会場を廻って、一青年一意味から可なりの反響をまき起し

年自身の学習意欲の結果、はつば一部も加わり農事の研究発表、グル一討論の後、 実に十八に及ぶ大きな村である。 三、中学校一、を有し、部落数は一二組で日曜毎に授業をしている。 あったが、いろいろ障碍も伴なっ てか、村一体の運営はむつかしか「切り方である。 つ複学核式の勉学が始められつト 各部落とも、三、四年前よの青 しかし、廿七年冬期より村数商 | 暖房用の燃料は生徒持参という張 | 「一学級あり、これには青年団幹||斉に映画「青年学級」を見て研究」けているが、幸に公民館は交通年 ープ的学習の方法も取り入れられ」ある。

協力のもとに力強い青年学級の発 足を見たのである。なかんずく皆 委員会、公民館、学校、青年団の一

校施設の解放と協力は特筆すべき 平団の自主的な拠意、理解ある学 自つとこ、三男の教育が行われて一 三男組(一般教養科)に編成され 約七〇名が長男組(農業科)、11台くととを信じてその前途に大き 姥ケ橋小学校では、男子二学級一来益々との青年学級を充実させて

く期待をもつものである。

(北蒲原、社教主事阿部広雄)

動を誘発して、村民生活向上の底。には、かなり苦しみました。お草 に、生活に、夫々自主的クラブ活丁質の蘇報は一号二号共、その収集 村教育係員の現解ある協力が、将7

| ケ年貸出数は一万邢に及んでいる。欄は投書棚ですから、 歯様の息吹

例へば僅か千三百冊の図書の一

し、館の利用者も延、約三万人で一言をこの辺からも盛り上げて行っ

文化に、産業に、教育に、趣味┃でみたいと思っておりまず。▲五

こうした青年の自主的な熟意と、同せられている。

勉強を開始したそうで | 便の所に 一 昨 年 独立の 館を つく

り身任の職員三人を持っているの

で、

蔗かの

施設で

十分に

村民に

利

く。こだま。機はこのご号にして す、三号にはさっぱり御投稿が無 しました▲さて、早速お願いしま

、遂に休んでしまいました。との

村民の協力に

会場は各学校毎で四ケ所、中学/其のねらいは各館により千差万別 近ごろ館報が多くなった事は公司

る青年学級運営のうまさは、

全人

関係者全員の関心熱意の深さによ

生徒の出席率の良好なことと

敬服させられる処である。

家庭、休育、救経等を教課とし、|により隔月発行をし、 |蟄活動の進歩を語る物であるが||二、村民に実生法の諮問題を提供||下三千万円で中学校建設中である||民館漫動の発展を計る||法として 三島郡西越村公民館は左の方針 其の使命を|館繰は新四や雑誌の二種でなく必| 西越村公民館を見る により編集発行する 三、系統的計画案(少くも一年間)。寸万円を文出している。とれは七一員から、社教委員、地方教委、 して自主的解決を促す 保存して生活に活用して貰う事一らずものであると信ずる。 よりなる

会などが生徒の要望により実施さ一を計り、村の身近な問題を提供す 水、金の三日間、算数、 あり、生徒は約五〇名一週間に日一活動の意欲を増し、数学的実態掲 の発展が期待されるようである<br />
さ、即ち教養を高め、。村内人名録 また駒林小学校会場は夜間制で によって自他を知ら、互に協力と 国語、社/載によって生活の反治と、向上と る事によって生活の自覚と協同体

| 青年団長|の有り方とを考えさせる。色々の たが八頭にして外

|の魔巻にお役に立つこととなりま ところが突然衆院の解散で早速を 明選挙の問題を始 り上げました。

また、夜間制の学級が男子のみ。二十月行われたが、各会場毎、一一所開邪道に陥らぬ様。正道を心掛し変っておりましたが、本号からは 香まいっこう。う 「こことをできないと指数」ではらずこう。 (一) 意動に反給すべき物が多いと指数」ではいやられる部の遺跡が聞かられるのではない。 |そんな誤りのないよう極力注意致 字が多く而も、四頁と六頁が入れ した。 ▲毎月二十日発行の 『耳

語

料

(1)住居 すまい 庭 科 (2) 食物 A宏判 青 年 たべもの 一 一 〇 頁 12 級用

衆議院法制局監修 立候補から 衆議院議員選挙に関する 運動をする人、これを見守る人々のため 改正公職選挙法の解説で立候補する人 切の手続や選

三、四〇〇万の 挙 A5判112頁¥60 したと、神崎商、事前技、藤田たき、山高、 ・ はか名専門の立場から教養。各巻を婦人 ・ ではかる専門の立場から教養。各巻を婦人 ・ では、神崎商、事前技、藤田たき、山高 ・ では、神崎商、事前技、藤田たき、山高

注 文 Ø L ij

若しくは新潟市都超町越佐自治会館内新潟県官報販売所新潟出 御

致します。本号は ム月の参院選に ●第二号をお届け 俪 期

マ早いと思いまし

いる。不思議な事に二、三男組は一ているが、是は過去の村の文化を

体格もよく、 力も強いようで、 将「知る事によって村民自身に心の厚

畤 Ø 物 法

頁

令 解 說 5 判

**3**0

易しく解説して、みたを始め、各省庁で作品 A 52 (平

60

の進展を願って努力している唯一の専門維誌です。は、本誌と共に硫々光を増して来ている。社会教育党権した民心と顔紀に光を与えて来た社会教育の燈 B六判 青年学級テキスト編集委員会・編 各至四〇

(1)緑につつまれて (2)青年議会 二()()()()()() 学級用 デキ テキスト 各筆五〇 ③ 自然と人生 ス

挙運動について平易簡明に解説した で公明選挙をねがって発行された A 5 判 192

御廷文は各郡教笥庁出張所社会教育担当者宛に御申込下さい。

女性の力

|が、此間にもなお公民館費に年六| との『月報』を公民館運営審議家

の村は人口七子の小農村にもかか」ろ、お鱮い致します。▲先般の評

一るいは写真を是非お送り下さるよ

ځ

選

わらず県立高等学校を設置し、目|議員会でも話が出たのですが、

|認めて異れなくては出来ない。と

な割の悪い仕事で、村民がこれを

而し公民館の仕事は、地下水的ですから、各地各所のニュースあ

|いの連絡を密にする為の『月報』

||校長先年、教頭先生を始め、職員||果している。

校では全村の女子の学級で昼間制を免れない

である。。毎日曜に、国語、算数、

多数がこれに参加している。

一、村民全体に村の実態を知らせ」にしている。「村の歴史物語を掲げ」

(三占社教主事

山田小哉)

(桜井)

選挙運動の方法

ので、この協力は西越村の至宝で、拡げて行きたいと考えております 千村民の一致協力が解決している。に一般町村民へと、その読者屬を

Ħ

月刊

社

. 〇〇貫

(2)心のともしび

料

(1)新しい家良い家庭

各至六〇

衣服

あり、西越村の前途に光明をもたから、何分よろしくお願い致しま

張所宛御申込下さい。